



大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou

Elementary School

<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

No.35

平成29年8月18日

自己実現のために、いくつかの大切なこと

校長 井出 賀津雄

前半は猛暑、後半は涼しい夏となりました。気候の変化の中、たいへんご苦労をされた方もいらっしゃるのではないかと思います。子どもたちは、変化の大きな長期休業の中、大きな事故もなく楽しい夏休みになったのではないかと思います。スポーツでは、世界陸上など、世界の舞台で日本人が活躍する様子もご覧になられたりし、様々な視点で参考になることが多かったのではないかと思います。

さて、いよいよ、充実の2学期が始まりますが、「自己実現」を中心に書き添えまして、2学期はじめのご挨拶としたいと思います。

子どもは、自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物（親や先生、歴史上貢献し感銘を受けた人、各種指導者、地域の人など）に対して、誰でも無意識のうちに「あの人のようになりたい」という思いをもって、将来像を重ねるモデルを選び、その影響を受けながら成長すると言われています。自分の目的や理想の実現に向けて努力し、成し遂げることを「自己実現」と言いますが、その自己実現や自分の将来を支えるのは、「目標」「使命感」そして、「夢」ですが、その原動力となるのは、模範となる人物・モデルの存在が大きいと考えます。私は、現実との距離があっても構わないと思うタイプですが、模範となる人物・モデルに憧れ、実現可能だと信じ続けることで、意外と思いがけなく距離が縮まることが多いと聞きます。

因みに、昨年も書きましたが、夢と現実の距離は、たくさんの心理学者の研究によって、縮まる方法が具体的に見つけられています。その方法は極めてシンプルな方法で、具体的な目標と具体的な取組を決めて書くことと示されています。そのことにより、夢のイメージが明確になり実現の可能性も高まっていくというわけです。具体的な目標や具体的な取組は、何回とか何時間、何日、何点、何%というように数値目標（記録化できる目安）を決めておくと、反省などで過去の自分と比較するなどフィードバックができ、より良いです。この取組は、学力向上やスポーツの競技力向上、器楽演奏の向上などに応用され、その範囲は極めて広いものとなっています。さらには、目指す目標が、自分がなぜそれを目指すのか、使命感に支えられていれば、よりモチベーションが高まります。

そして、目標は、自分の存在・活躍・個性を証明するだけでなく、今の社会や次世代へ貢献をするという使命感がイメージとして加わりますと、より強いモチベーションとなります。

本校の教育の重点目標は、「一人ひとりが成長を実感し向上する、らしさが際立つ学校を創る」になっています。そのため、①重点目標を達成するための具体的方策、②成果と課題を分析し、結果の可視化を行い、達成感・充実感を味わう、③児童の変容の様子を見とり（検証・点検し）、達成感・充実感を味わう、としています。※①は16項目の具体的方策と、その1項目ごとに2～6種類の細案が設けられています。②③については、これまでと同様、児童に対して、様々な自己評価アンケートや感想メモを用いて、客観性を高め、達成感・充実感を味わうようにしています。

北海道紙芝居研究会代表の井林芳枝さんから、「ブータン国が豊かな国になるように貢献した一人の日本人がいました。それは、西岡京治さんという方で、農業技術を広めていくことに力を注ぎ、ブータン農業の父と言われ、ダショー号（最高に偉い人）までいただきました。今はもうお亡くなりになられた方ですが、この方のお陰でブータン国は、日本の親日国になっています。」「このようなことも紙芝居を演じるためには必要な下調べになっています」というような内容のお話を聞きました。このようなお話をお聞きしまして、友好親善のきっかけは「人」なんだと思いました。また、調べてみますと、このように国際貢献している日本人は非常に多いことがわかりました。相手への思いやりと自尊感情・自己肯定感・自己有用感がいかに大切か、ここでも考えることができます。

2学期には、秋まつり、メーカーインまつり、学習発表会など、地域の皆さんと過ごす行事を予定しています。どの行事も子どもたちが楽しみにしています。保護者の皆様や地域の皆様にも、ぜひ本校にお越しいただき、子どもの様子や成長を感じていただければ幸いです。

2学期もよろしくお祈りいたします。

